

街頭写真から「色に対する気分」を見ることにする。

A: 目立つカラー：身に着けているアイテムの中で彩度の高い色動向

B: 着装カラー：着ている服の色動向

C: アイテム別動向：カラー中心にデータから見た特徴、街頭写真など

A: 目立つカラー (服以外含む)

身に着けているアイテムの中で、彩度の高いカラー **1 色** を目立つカラーとする。

(同彩度は明るい色優先、柄物などはその中で分量が多く目立つ色 - 色相では彩度の高い暖色系優先)

(目立つカラーの設定上、低彩度方向、暗い方向は量的に少なくなる)

概要

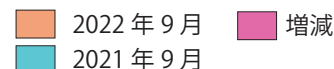
日時 2022 年 8 月 28 日 29 度

2021 年 8 月 26 日 32 度

場所 神戸元町 (神戸大丸近く)

対象 20-50 代女性

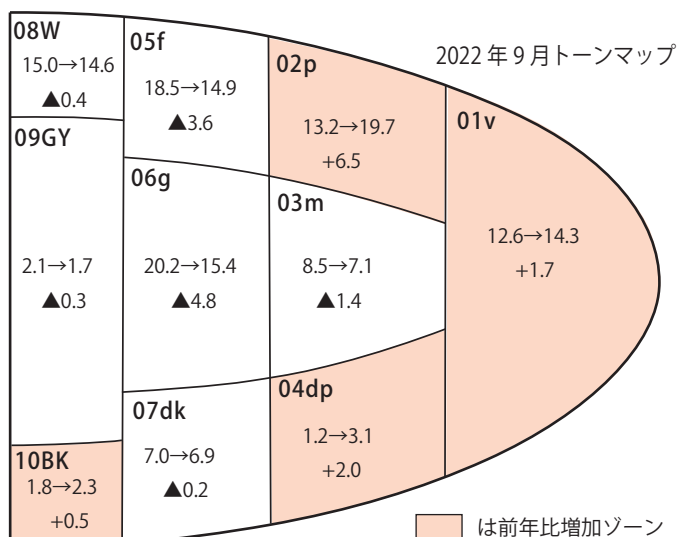
棒グラフ対応カラー



天候により 8 月下旬に早めての撮影になりましたが、通常 9 月初旬撮影予定で、上記も 9 月表記しています

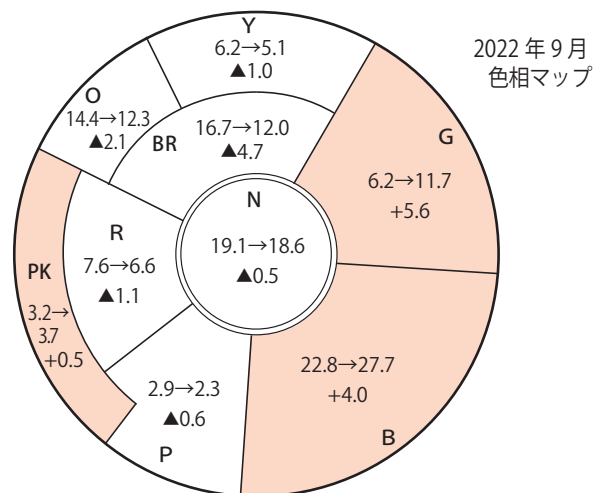
トーンの特徴

v(鮮やかな) 方向が増加、特に明るい方向の p(淡い) が目立ち、dp(濃い) が続く
減少は低彩度の g(灰み)、f(かすかな) が大きい



色相の特徴

グリーン、ブルー中心に、寒色系、中性色が急増
増加ではグリーンがリードも、量的にはブルーが大きい
反対に、ブラウン、オレンジ中心に、暖色系が幅広く減少している



具体的カラーの特徴

上記トーン別に色相の増減を見ると、より具体的なカラーがわかる

増加トーン

- ・v(鮮やかな) では
緑 **■** +2.3> 青 **■** +0.5 の順で増加が多い
- ・p(淡い) では
青 **■** +2.5> オレンジ **■** +1.3> 緑 **■**、ピンク **■** +1.1> 黄 **■** +0.8
- ・dp(濃い) では、青 **■** +1.1> 茶 **■** +0.8

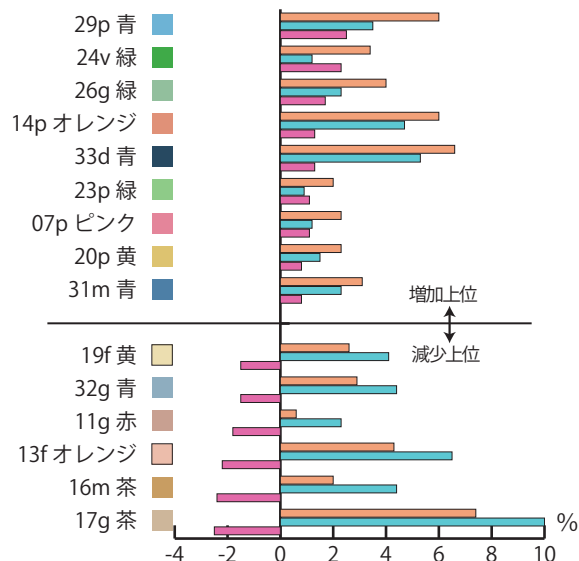
減少トーンで、増加色相は

- ・g(灰み) では、緑 **■** +1.7 のみ増加
- ・f(かすかな) では
緑 **■** +0.6> 青 **■** +0.4> 紫 **■** +0.3
- ・m(にぶい) では、青 **■** +0.8
- ・dk(暗い) では、赤 **■** +0.3 のみ増加

減少の大きいカラーは

- g 茶 **■** -2.5、g 赤 **■** -1.8、g 青 **■** -1.5
- m 茶 **■** -2.4 v オレンジ **■** -1.2
- f オレンジ **■** -2.2、f 黄 **■** -1.5

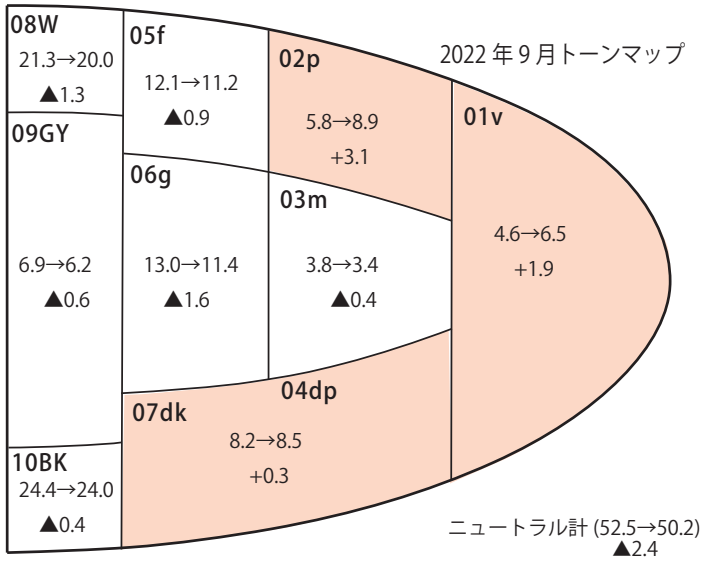
詳細な目立つカラー増減 順位 (上位)



増加上位にブルー、グリーン系が 3 色ずつ登場
p のオレンジ、ピンク、黄が続く
減少は、茶系が目立っている

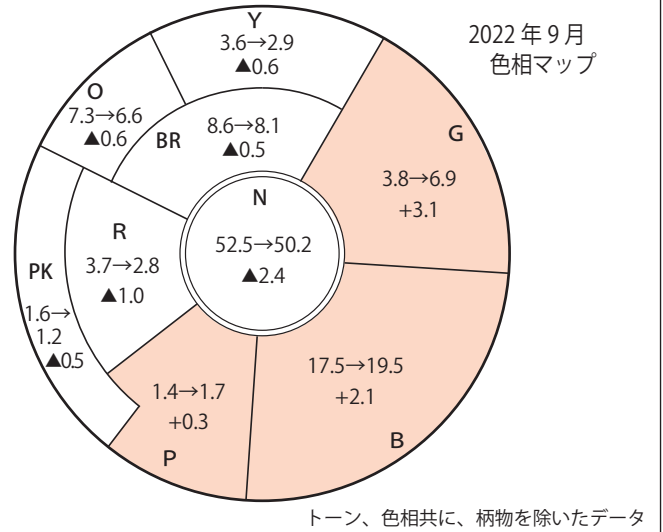
トーンの特徴

目立つカラー同様、高彩度方向が増加、p、vがリード
反対に、低彩度、ニュートラル方向が、g、W中心に少し減少



色相の特徴

目立つカラー同様、寒色系、中性色に増加が集中、
グリーン方向にかけて増加が大きい
反対に、ニュートラルが減少、暖色系が幅広く続く



具体的カラーの特徴

上記トーン別に色相の増減を見ると、より具体的なカラーがわかる

増加トーン

- ・v(鮮やかな)では
緑 ■ +1.5 > 青 ■ +0.5
- ・p(淡い)では
青 ■ +1.7 > 緑 ■ +0.6
- ・dk(暗い)dp(濃い)では、青 ■ +0.4 > 赤 ■ +0.3

減少トーンで、増加色相は

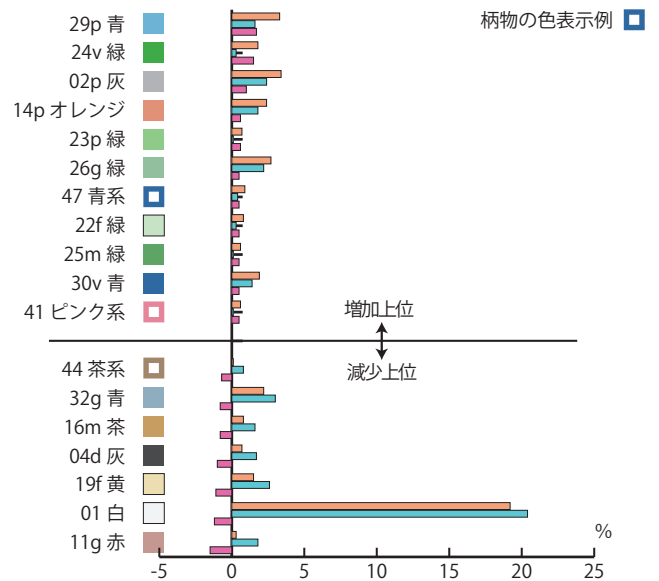
- ・g(灰み)では、緑 ■ +0.5
- ・f(かすかな)では、青 ■ +1.9 > 緑 ■ +0.5
- ・m(にぶい)では、緑 ■ +0.5
- ・GY(灰)では、p 灰 ■ +1.0

減少の大きいカラーは

- W ■ -1.2、d 灰 ■ -1.0、f 黄 ■ -1.1
- g 赤 ■ -1.5 g 青 ■ -0.8 m 茶 ■ -0.8

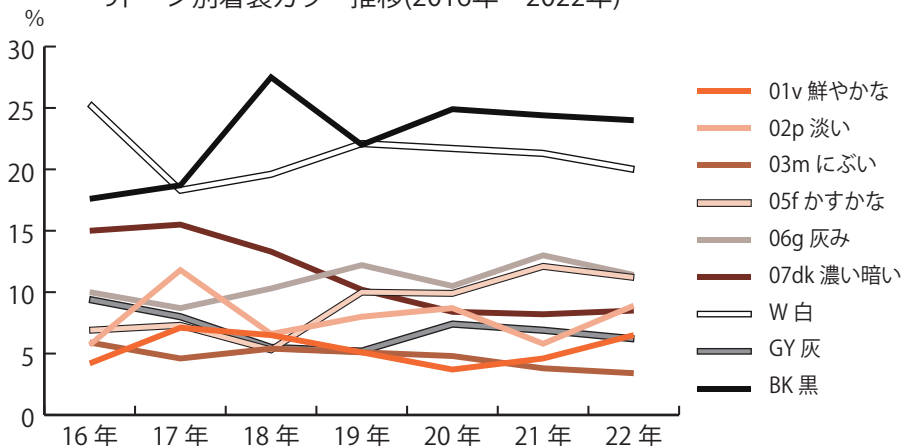
右の着装カラー増減グラフも合わせて参照下さい

詳細な着装カラー増減順位(上位)



増加上位にグリーンがリード、ブルーが続く
減少は、低彩度方向に多い

9トーン別着装カラー推移(2016年～2022年)



22年までの7年間推移を見ると、
黒、白の安定、ダークの減少傾向と反対に、
かすかな、灰みが増加傾向となっている
22年の傾向は、上位トーンが少し減少
の中、鮮やかな、淡いが増加が目立っている
灰、にぶいは引き続き少し減少が続いている
17年、18年のような大きな変化は20年
以降はなくなっている

C: アイテム別動向: カラー中心にデータから見た特徴、街頭写真 (カラーナンバー 40 番から 49 番までは柄物)

着カラーの色相で、中性色、寒色系のみが増加で目立ったことと同様に、アイテムにおいても目立った特徴が見られた。

数の多い6アイテム(ブラウス、カットソー、ニット、スカート、パンツ、ドレス)について、着用動向を見ると、

ドレスが急増(25%以上)しており、反対に、パンツ、カットソーが影響を受け、減少となっている。

ブラウス、ニット、スカートは継続している。

猛暑に対応した透け感、涼しさ対応は引き続き継続、発展しており、目立ったボリューム感、組み合わせ、柄など、工夫した数々の着こなしが見られた。

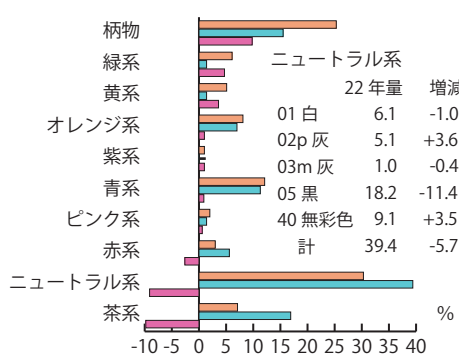
ドレス

色では、緑系、黄系がリード、反対に、茶系、ニュートラル系が大きく減少

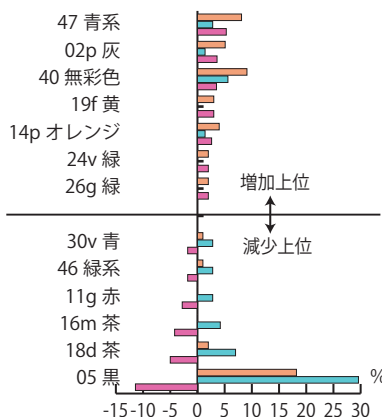
詳細では、青系、無彩色の柄物、p 灰がリード 減少は黒が目立つ d 茶、m 茶が続く

ドレス丈も引き続きグラフの様に、長さが継続 柄は増加傾向で、花柄で、葉、枝部分に変化が見られる

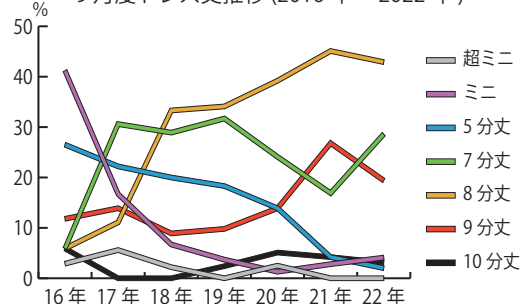
集約した色相増減 (増加順)



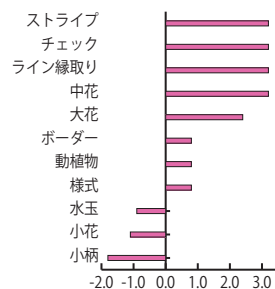
詳細カラー増減 (上位)



9 月度ドレス丈推移 (2016 年～ 2022 年)



ドレス柄増減のみ



大きい衿



袖口強調



中花、大花 花より葉、枝を強調、単色使い



裾広がり、ティアード、ギャザーなど



チェック、ストライプ、ライン縁取り



レース



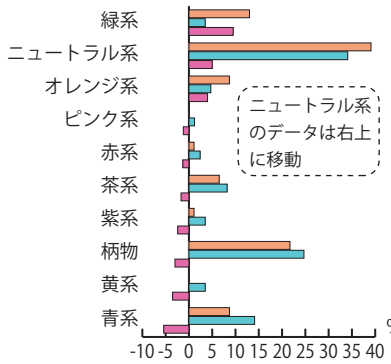
ミニ丈



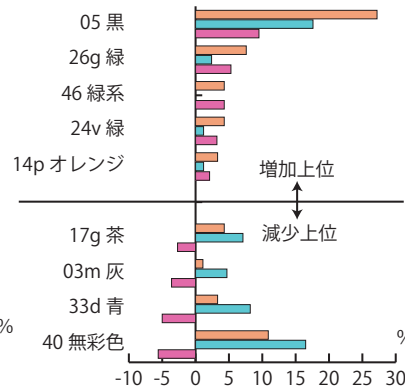
スカート

色では、緑系、ニュートラル系、オレンジ系が増加 青系、黄系が減少
 詳細では、ニュートラル系では黒のみ急増(右データ参照)、g 緑など緑系が続く

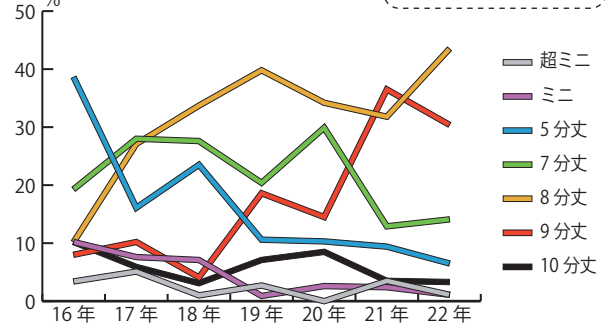
集約した色相増減(増加順)



詳細カラー増減(上位)



9月度 スカート丈増減
(2016年~2022年)



ニュートラル系		
	22年量	増減
01 白	6.5	+0.6
02p 灰	4.3	+0.8
03m 灰	1.1	-3.6
04d 灰	0	-2.4
05 黒	27.2	+9.5
40 無彩色	10.9	-5.6
計	50.0	-0.6

透け感 レースなど



柄 大花



ロング丈 ドレープ 表面変化など



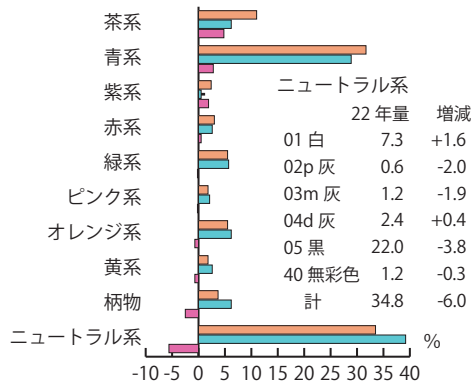
柄 小柄、ストライプ、抽象



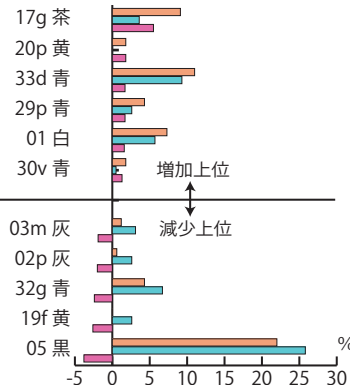
パンツ

色では、茶系、青系がリード、ニュートラル系が減少
 詳細では、g 茶、p 黄、p&d 青が続く 黒は少しだが減少1位

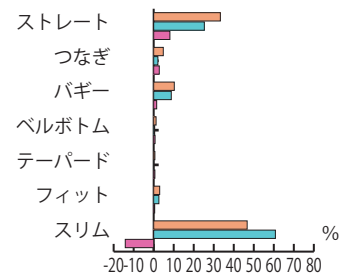
集約した色相増減(増加順)



詳細カラー増減(上位)



パンツ巾増減



アクセント



中花



ベルボトム



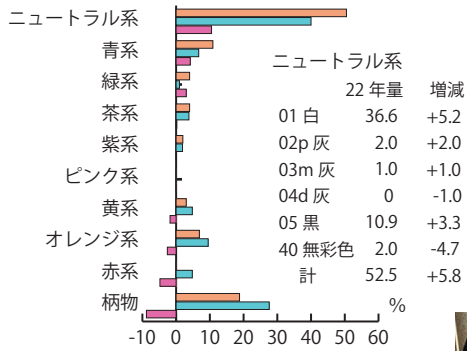
重ね、コード



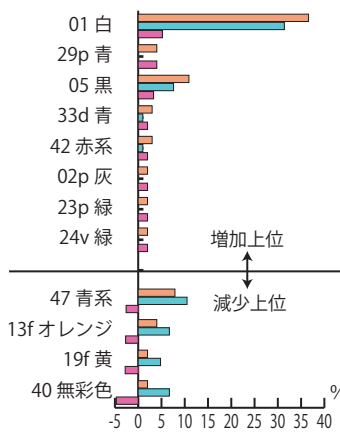
ブラウス

色では、ニュートラル系が白中心に増加、青系、緑系が続く
 詳細では、白がリード、p 青、黒、d 青が続く 無彩色の柄物が減少

集約した色相増減（増加順）



詳細カラー増減（上位）



透け感



ティアード



透け感Xドレス



ボリューム袖



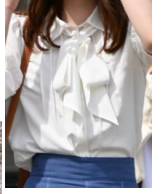
ボリューム衿



シャーリング、ギャザーなど



リボン



柄 ライン縁取り



小花



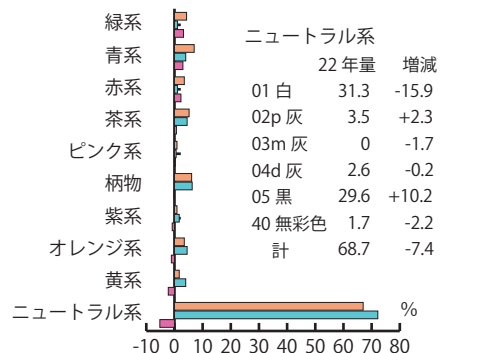
チェック



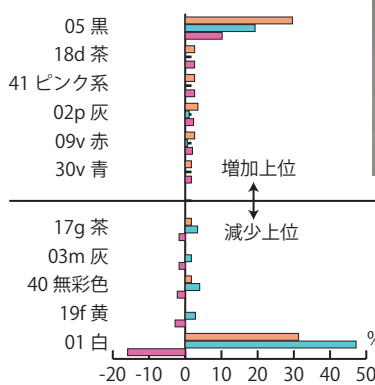
カットソー

色では、緑系、青系がリード、量的に多いニュートラルが減少1位
 詳細では、黒増加1位も、白減少1位が大きく、ニュートラルの減少となっている

集約した色相増減（増加順）



詳細カラー増減（上位）



左右色違い袖 透け感



素材組み合わせ



ロンク丈 透け感



ボリューム袖



ボリューム感Xウエスト



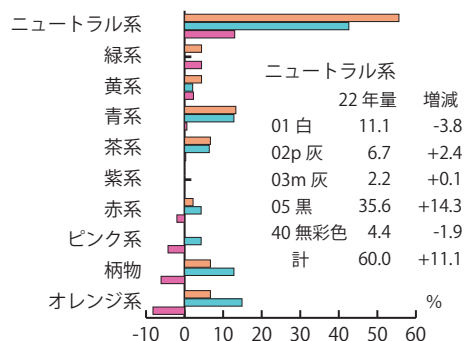
柄 小さい文字など



ショート丈

セーター、カーディガン

集約した色相増減（増加順）



色では、ニュートラル系が急増、緑系、黄系、青系が続く
反対に、オレンジ系、柄物が減少

ニュートラル系データでは、黒が急増で目立つ

ドレス



カーディガン



チェック、ライン緑取り



透かし



ショート丈



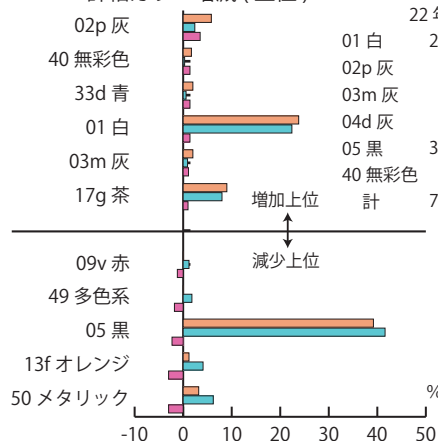
組み合わせ



靴

色では、明るい方向のニュートラル系が伸び、d 青、g 茶が続く
ニュートラル系データでは、白～m 灰が増加
靴タイプでは、サンダルが安定、パンプス減少分、スポーツ靴増加

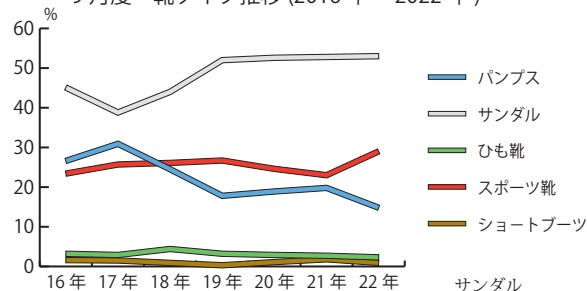
詳細カラー増減（上位）



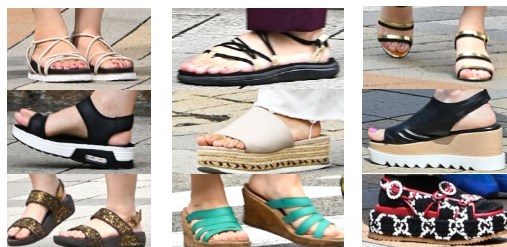
スポーツ靴



9 月度 靴タイプ推移（2016 年～2022 年）



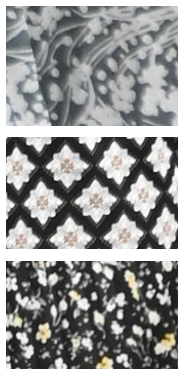
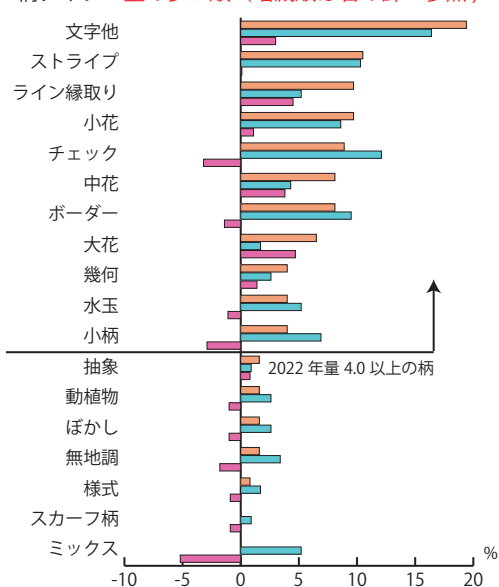
サンダル



柄

量的には、総柄ではない文字他、ライン緑取りを除くと、ストライプ、チェック、花柄、ボーダーが多い
右の増減では、大花、中花などの花柄が増加で目立っている

柄タイプ 量の多い順（増減順は右の計 参照）



アイテム別 柄タイプ増減

（2022 年柄タイプ量 4.0 以上 0.8 ～ -0.8 は省略）

	ドレス	カットソー	ニット	スカート	ブラウス	パンツ	計
大花	2.4			2.4		-0.9	4.7
ライン緑取り	3.2	-1.9	1.6	-0.9	4.0		4.5
中花	3.2				-1.0	1.6	3.8
文字他		3.8					3.0
幾何					-0.9	1.6	1.4
小花	-1.1				1.6		1.1
ストライプ	3.2			1.6	-4.6		0.1
水玉	-0.9	-0.9					-1.1
ボーダー			-1.8	-0.9			-1.4
小柄	-1.8		-0.9		-0.9		-2.9
チェック	3.2			-1.9	-1.0	-2.6	-3.2
全柄計	13.9	2.1	0.5	-1.2	-3.2	-4.0	

- ・大花、中花（柄 1） 花より葉、枝中心に展開 色使いも一見すると 1 色使いの様に
見える
- ・ライン緑取り 緑取りカラーをアクセントに ラインを強調する効果
- ・文字他 ほとんどカットソー使用で、少し文字が小さく、マークもシンプルに
- ・幾何（柄 2） 図形の四角形、多角形、点、傾きなどで構成した柄
- ・小花（柄 3） 大花同様、1 色使いに見えるほど、小さく、蜜になっている
- ・ストライプはシャツで減少、ドレスで増加